

# 能登半島地震で被災された方々の生活・住宅再建に対する支援（図解）

～ 新しい被災者生活再建支援制度がH19年12月14日から施行されました ～

## 全壊世帯(①、②)

### ① 住宅を建設・購入する方

資金の支援			資金の融資	
最大770万円			最大1,400万円【※4】	
被災者生活再建支援制度【※1】 (国)【※2】 300万	義援金 (県)【※3】 100万	復興基金助成 上限 200万	住宅融資 (住宅金融支援機構等) 復興基金助成 5年間の利子補給【※5】	

耐震・耐雪 50万 景観配慮 40万  
バリアフリー 60万 県産材活用 60万

### ② 住宅を補修する方

資金の支援			資金の融資	
最大720万円			最大590万円【※4】	
被災者生活再建支援制度【※1】 (国)【※2】 200万	応急修理 (現物支給) (県)【※3】 50万	義援金 170万	復興基金助成 上限 200万	住宅融資 (住宅金融支援機構等) 復興基金助成 5年間の利子補給【※5】

耐震・耐雪 50万 景観配慮 40万  
バリアフリー 60万 建て起こし 75万

## 大規模半壊世帯(③、④)

### ③ 住宅を建設・購入する方

資金の支援			資金の融資	
最大555万円			最大1,400万円【※4】	
被災者生活再建支援制度【※1】 (国)【※2】 250万	義援金 (県)【※3】 100万	復興基金助成 上限 120万	住宅融資 (住宅金融支援機構等) 復興基金助成 5年間の利子補給【※5】	

耐震・耐雪 50万 景観配慮 40万  
バリアフリー 60万 県産材活用 60万

### ④ 住宅を補修する方

資金の支援			資金の融資	
最大505万円			最大590万円【※4】	
被災者生活再建支援制度【※1】 (国)【※2】 150万	応急修理 (現物支給) (県)【※3】 50万	義援金 85万	復興基金助成 上限 120万	住宅融資 (住宅金融支援機構等) 復興基金助成 5年間の利子補給【※5】

耐震・耐雪 50万 建て起こし 75万

## 半壊世帯(⑤)

### ⑤ 住宅を補修する方

資金の支援			資金の融資	
最大235万円			最大590万円【※4】	
被災者生活再建支援制度【※1】 (県)【※3】 100万	応急修理 (現物支給) 50万	義援金 85万	住宅融資 (住宅金融支援機構等) 復興基金助成 5年間の利子補給【※5】	

⑤の場合、別途、県として、必要な解体・撤去、整地費等を支援します。(100万円限度)

#### 注意事項

- 【※1】 単身世帯の場合、支給額は75%になります。
- 【※2】 新制度での基礎支援金(旧制度での生活関係経費(生活必需品購入費など)相当分)を含んでいます。旧制度で支援金を受けた方は、新制度での支給額から既に旧制度で受けた支援金を差し引いて支給されます。
- 【※3】 県の被災者生活再建支援制度に変更はありません。大規模半壊、半壊の場合、生活関連経費(生活必需品購入費など)を含んでいます。
- 【※4】 住宅金融支援機構の災害復興住宅融資制度を利用した場合の最大融資額です。
- 【※5】 住宅金融支援機構の災害復興住宅融資制度の利率を上限とします。